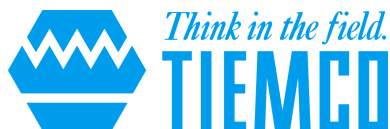


2025年7月11日版

決算説明補足資料

第56期 2025年11月期 中間期



株式会社ティムコ
東証STD 7501

CONTENTS



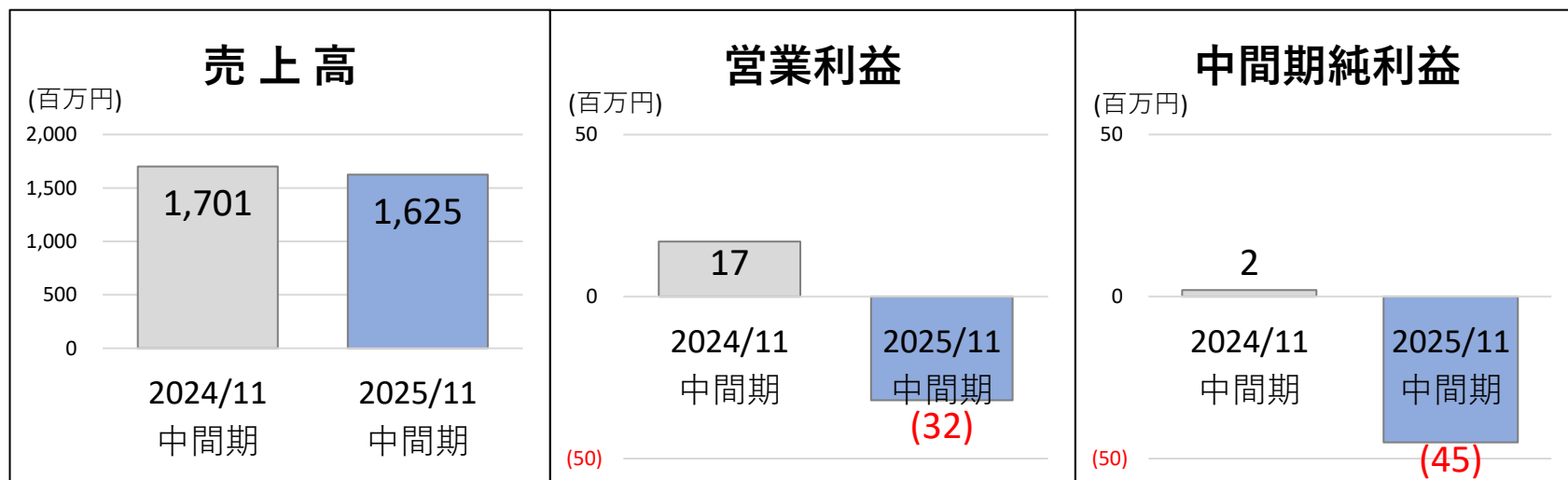
区 分	内 容	頁
決算概況	全体	P3
	四半期別	P4
	セグメント別（フィッシング事業）	P5
	セグメント別（アウトドア事業）	P6
	輸出の状況	P7
	輸入の状況	P8
	新製品・自社企画品	P9
当期予想・対策	当期における対策	P10
	2025年11月期 業績・配当予想	P11
	2025年11月期 業績予想 セグメント別	P12
T O P I X	第2四半期までのトピックス ①～⑦	P13
市場調査データ	参加人口の推移・出荷市場・小売市場データ他	P21

決算概要（全体）



フィッシング事業は、市場の在庫調整に回復がみられたものの、寒気、荒天、物価高等により高価格帯商品を中心に販売が低迷、アウトドア事業は、防寒衣料の立ち上がりは順調であったものの春夏物の販売が苦戦し、売上高は前期を下回りました。また、売上高の減少に加え、円安や原材料高騰による原価率上昇やセール販売等による売上総利益率の低下等の影響により、営業損失、経常損失となったほか、繰延税金資産の一部取り崩し等による法人税等調整額の影響を受け、中間純損失となりました。

単位：百万円	2024年11月期 中間期	2025年11月 中間期	増減率	増減額
売上高	1,701	1,625	- 4.5%	- 76
営業利益（損失）	17	- 32	-	- 50
経常利益（損失）	20	- 28	-	- 48
中間期純利益（損失）	2	- 45	-	- 48



決算概要（四半期別）

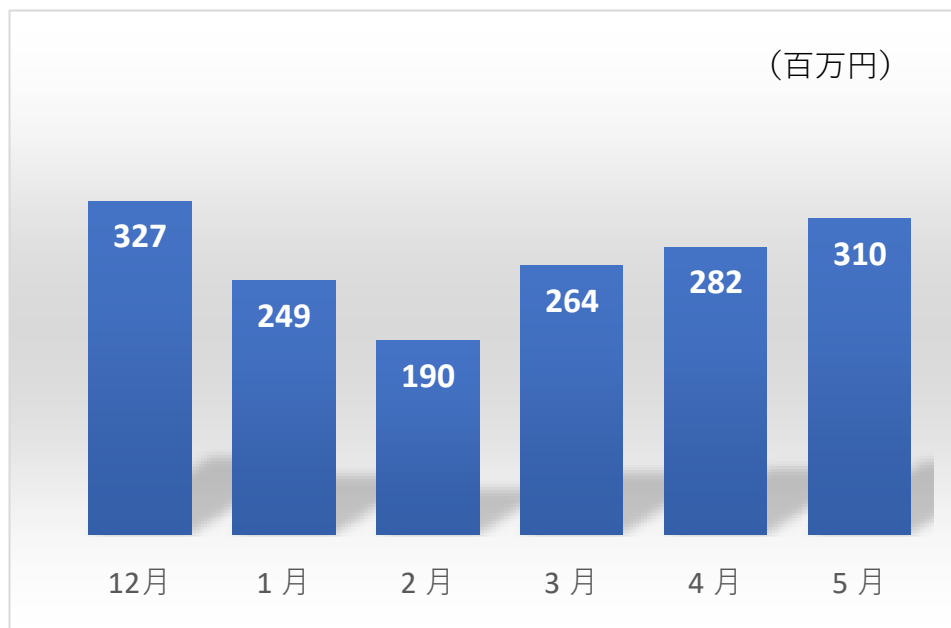


期初は、前年同期よりも、気温が低下しアウトドア事業の防寒衣料が堅調に推移した一方、1月以降は商材確保の苦戦したほか、折からの市況低迷に加えて春季の気温変動によりフィッシング事業、アウトドア事業共に販売が苦戦しました。

- 1Q（12-2月）前年同期よりも気温低下し防寒衣料が堅調に推移したことにより主に[アウトド衣料の売上高向上](#)。
- 2Q（3-5月）市場低迷に加え、春季立ち上がりの気象や店舗数減少等の要因により[全般に売上高減少](#)。

<月別売上高の状況（百万円）>

	売上高	構成比	前年同月比
12月	327	20.2%	115.3%
1月	249	15.3%	98.4%
2月	190	11.7%	94.8%
3月	264	16.3%	89.5%
4月	282	17.4%	83.8%
5月	310	19.1%	93.9%



決算概況(セグメント別 フィッシング事業)



◆増加要素

- ・トラウトルアー用のロッド(釣竿)やフライ用品の消耗品等の一部商品の売上が増加。
- ・輸出の売上が増加(円安も起因)。
- ・5月末に発売された熊撃退スプレーの販売が堅調に推移。

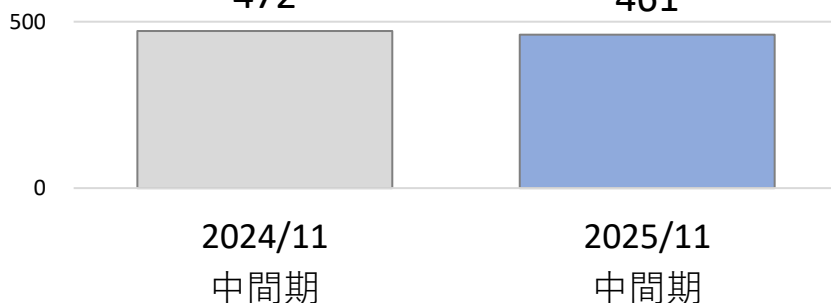
◆減少要素

- ・コロナ後の反動減の在庫調整局面は回復しつつあるものの、気象要因等により釣り市場の低迷が継続。
- ・原価高騰及び円安に起因する商品の値上げによる買い控え。
- ・原価高騰及び円安に起因して原価率が上昇し売上総利益率が低下。

単位：百万円	2024/11期 Q1-Q2	2025/11期 Q1-Q2	増減率	増減額
売上高	472	461	-2.3%	-10
セグメント利益	44	22	-48.9%	-21

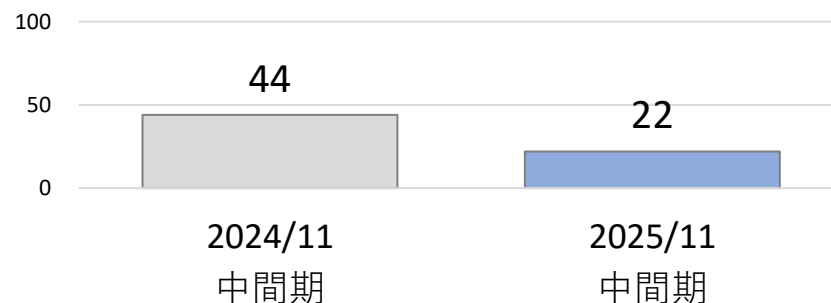
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



決算概況(セグメント別 アウトドア事業)



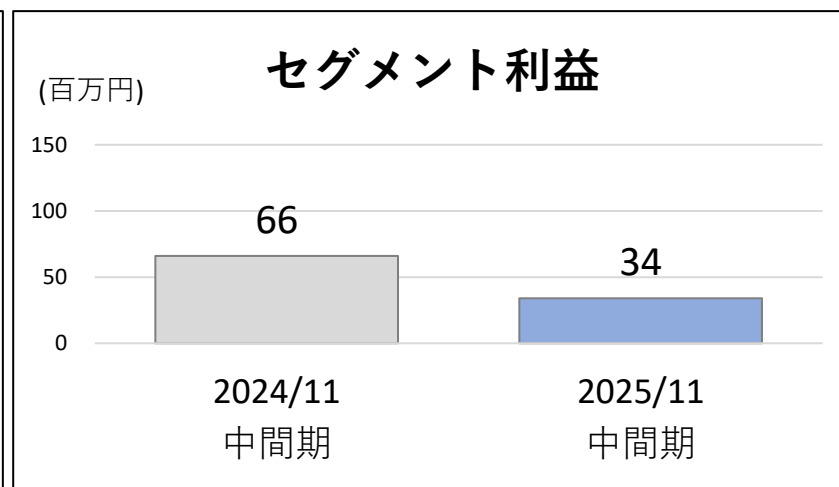
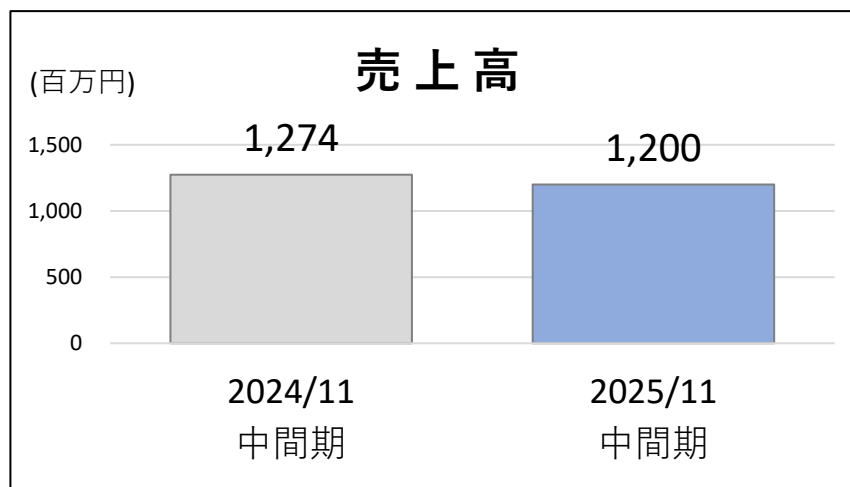
◆増加要素

- ・期初における気温低下により冬物防寒衣料の販売が堅調に推移。

◆減少要素

- ・冬物売れ筋在庫の欠品により2月以降の商戦が苦戦。
- ・冬物と春物の中間を繋ぐジャケット類の入荷遅れにより売上高が苦戦。
- ・春以降の登山需要等が停滞気味。
- ・原価高騰及び円安に起因する商品の値上げによる買い控え。
- ・原価高騰及び円安に起因して原価率が上昇し売上総利益率が低下。

単位：百万円	2023/11期 Q1-Q2	2025/11期 Q1-Q2	増減率	増減額
売上高	1,220	1,153	- 5.5%	- 67
セグメント利益	66	34	- 48.0%	- 31



決算概況(輸出の状況)



<概況>

輸出品目は、**フライフィッシング用品が中心**。

米国の追加関税によるマイナス要素はあるものの、**輸出強化の対策により増加**。

<主な国別状況>

スリランカ：フライ用品の毛鉤生産工場を中心とした輸出。

スウェーデン：特注品の受注により前年同期に比べて売上が拡大。

アメリカ：米国関税対策と合わせて前倒の輸出を行った。

フランス：ルアー（擬似餌）を中心に輸出が拡大。

韓国：主に偏光サングラスの売上強化による拡大。

		2024/11期 中間期		2025/11期 中間期	
売上高		1,701百万円		1,625百万円	
輸出金額		67百万円		77百万円	
輸出比率		4.0%		4.8%	
輸 出 シ ョ ア	ス リ ラ ン カ	20.6%	ス リ ラ ン カ	17.7%	
	フ ラ ン ス	13.6%	ス ウ ェ ー デ ン	14.4%	
	ス ウ ェ ー デ ン	12.0%	ア メ リ カ	12.9%	
	中 国	7.5%	フ ラ ン ス	8.3%	
	ア メ リ カ	6.9%	韓 国	6.2%	
	イ タ リ ア	6.4%	イ タ リ ア	4.9%	
	そ の 他	33.0%	そ の 他	35.6%	

輸出金額

(百万円)

期間	輸出金額 (百万円)
2024/11 中間期	67
2025/11 中間期	77

輸出比率

期間	輸出比率 (%)
2024/11 中間期	4.0%
2025/11 中間期	4.8%

決算概要(輸入の状況)

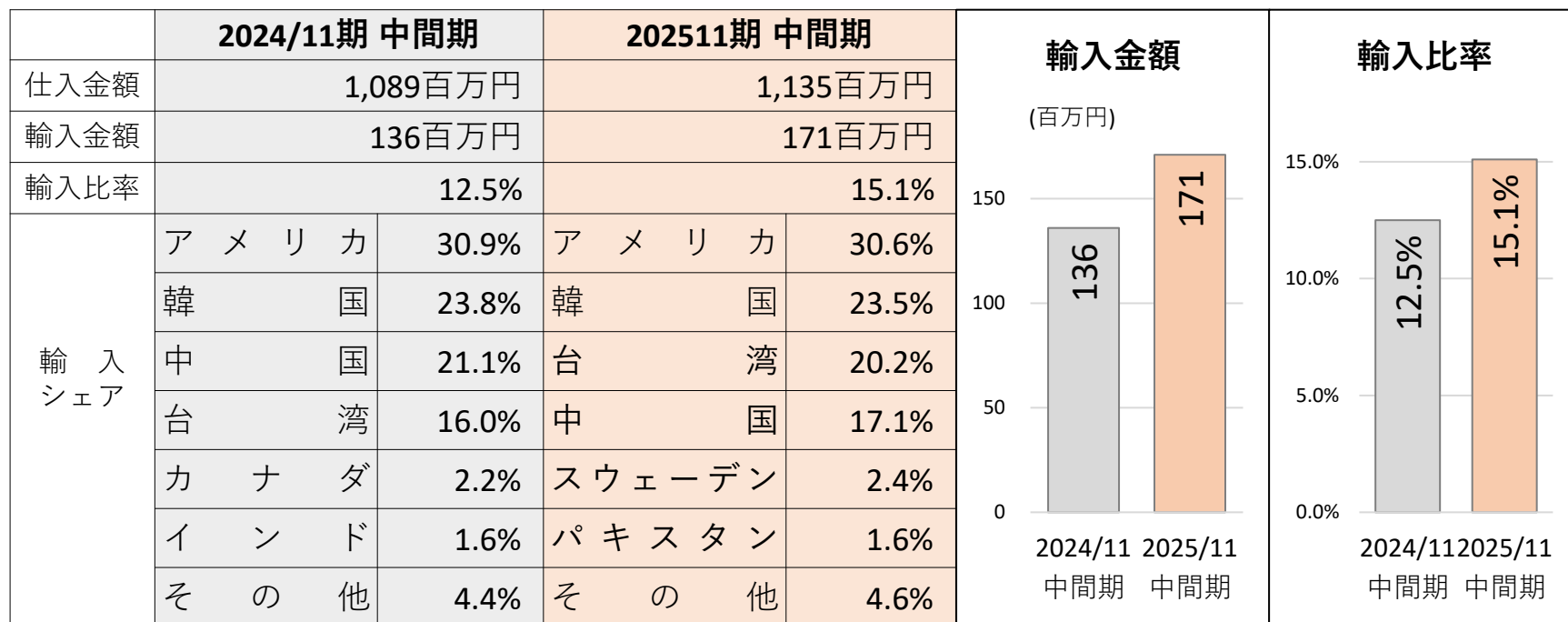


<概況>

海外法人から直接輸入している仕入のみ輸入に計上。フィッシング用品が中心。
海外生産でも国内中間業者を介して仕入を行う場合は輸入に含まない。
当中間期は仕入が順調に進み**輸入金額が増加した**。

<主な国別状況>

輸入国別の状況については前年同期と大きな変化はない。
スウェーデンからの品目が入荷したことによる増加があった。

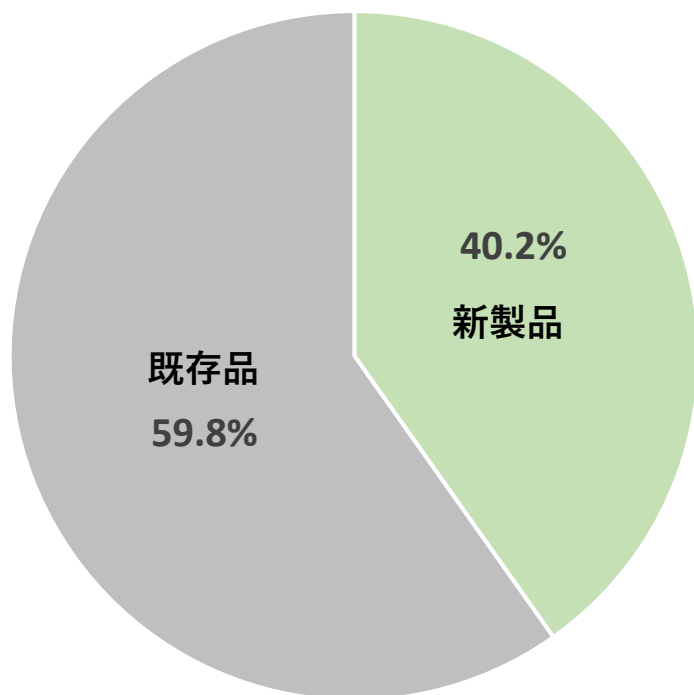


決算概要（新製品・自社企画品）



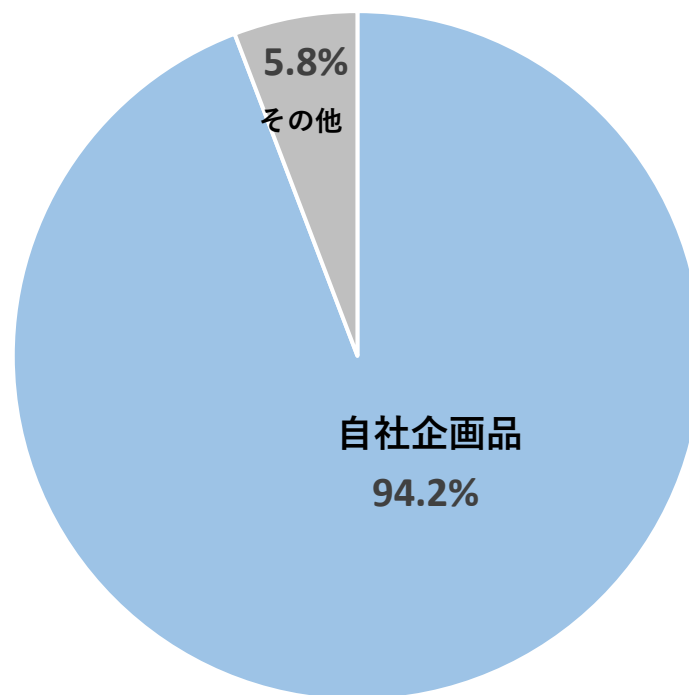
新製品販売比率

4割が新製品



自社企画品販売比率

9割以上が自社企画品



物価高騰により国内消費は停滞気味であるが、話題性のある仕入商材や、業界内における成長分野への取り組みに注力していく。

1) 輸出の強化

米国の関税率引き上げ等のマイナス要素もあるが、欧州及びアジア圏等別ルートも併せて拡大することで、引き続き輸出を強化していく。
主にフィッシング事業が中心となり、ルアー用品の分野に成長の可能性がある。

2) 仕入商材の販促強化

5月末より発売を開始した熊撃退用スプレー「熊一目散」(バイオ科学製品)が注目された。こうした話題性のある仕入商材の販売を引き続き強化していく。

3) 成長分野への注力

低迷する釣用品市場の中でも、管理釣場を中心としたジャンルは堅調であり、この分野に対して注力していく。
また、アウトドア事業においても秋冬商戦に向けて、発信力の強い他社とのコラボレーションアイテムの取り組みを強化していく。

4) ECは引き続き強化

引き続きEC分野には注力し、成長分野として資源を投入していく。

2025年11月期 業績・配当予想



第56期(2025年11月期)の業績予想について

売上高は、当初の予想を下回り33億51百万円(前年同期比4.3%増)となる見込みです。販売費及び一般管理費は前年より削減される見込みですが、売上高に伴う売上総利益の減少を補いきれず営業利益5百万円、経常利益10百万円となる見込みです。また、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額(損失)10百万円の影響などを受け、当期純損失22百万円となる見込みです。

単位：百万円	2024年11月期 (実績)	2025年11月期 (予想※)	増減率	増減額
売 上 高	3,212	3,351	+4.3%	+138
営 業 利 益	-30	5	-	+35
経 常 利 益	-24	10	-	+34
当期純利益	-109	-22	-	+87
配 当	12円00銭	12円00銭	-	-

※) 2025年7月11日開示の業績修正値となります。

2025年11月期 業績予想 セグメント別



フィッシング事業、アウトドア事業ともに**増収計画**となっています。

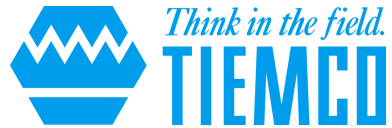
フィッシング事業は、引き続き市場全体が在庫調整局面ではありますが、仕入商材の強化や販売促進策等により下半期の販売は向上する見込みです。

アウトドア事業は、昨年に比べ店舗数が縮小や第2四半期における商材確保に苦戦しましたが、下半期の新店や商材投入により売上高は前年を上回る予想であります。

単位：百万円	2024年11月期 (実績)	2025年11月期 (予想※)	増減率	増減額
フィッシング事業	802	849	+ 6.5%	+52
アウトドア事業	2,389	2,475	+ 3.6%	+ 85
その他	19	21	+6.9%	+1
全社合計	3,212	3,351	+ 4.3%	+ 138

※) 2025年7月11日 開示の業績修正値となります。

TOPICS



TOPIC① NANGA × Foxfire 4th



NANGAコラボ第4弾。「GORE-TEX WS フィッシングダウンジャケット」の新仕様。「アングラズ2WAYダウンカーディガン」と「アングラズウォーキングシュラフ」2つを新展開。リサイクルダウン仕様の軽量コンパクトな仕上がりにしました。



NANGA×Foxfire
GORE-TEX WS Fishing Down
Jacket 2024
GORE-TEX WS フィッシングダウンジャケット



NANGA×Foxfire
Angler's 2WAY Down Cardigan
アングラズ2WAYダウンカーディガン



NANGA×Foxfire
Angler's Walking Sleeping Bag
アングラズウォーキングシュラフ

TOPIC② もののけ姫 × Foxfire



2023年の『となりのトトロ』から始まったFoxfire × スタジオジブリコレクションの第三弾として、『もののけ姫』とのコラボレーションが実現しました。人間と自然の二面性や両者の関係性を描いた本作は、世代や国境を超えて多くの人を魅了しています。その作品世界をイメージしてつくられたアウトドア仕様でありながらも、タウンユースとしても楽しめる全12アイテムをラインアップしました。(2024年11-2025年3月)



サン ホローマグ



アシタカ ホローマグ



シシ神の森 トート



シシ神の森 ショルダーバッグ



タタリ神アームカバー



ディダラボッチ ビーニー



サン キャップ



シシ神 プルオーバー



シシ神の森 ツールベスト



モロの君 フリースジャケット



アシタカ ジャケット



ディダラボッチ ダウンジャケット

TOPIC③ PESCALY × Foxfire



漁師も認める高機能ソックス「PESCALY」と「Foxfire」のコラボレーション（2025年3月）

富山に本社を構える高機能ソックスやレグウェアを製造する助野株式会社。しろえび漁が盛んな富山県射水市の新湊で、過酷な作業をする漁師たちの足元を支えるソックスを製造しています。同じ水辺でフィッシングギアを展開するFoxfireとの共通項からコラボレーションがスタート。フィッシングをはじめ様々なアウトドアシーンにも最適なMade in JAPANの高機能ソックスが完成しました。



TOPIC④ WILD MOUSE Tシャツ



「野良ネズミ」のパッケージキャラクター「ワイルドマウス」シリーズ発売（2025年3月）

ティムコの名作ルアー「野良ネズミ」のキャラクターをモチーフにした「ワイルドマウス」シリーズにキャップ、ハットに加えてTシャツが仲間入り。ヘビーウェイトコットンを使用しました。



TOPIC⑤ 釣りキチ三平 × Foxfire



2025年釣りキチ三平とのコラボのTシャツを発売（2025年4月）
理想の川を実現する当社の活動“River Of Dreams”の一環としてのチャリティとして実現しました。



**Good Things
for Fish & Nature**

三平と考える理想の川

**RIVER
OF
DREAMS**

釣りキチ三平 × Foxfire



TOPIC⑥ Foxfire ONE FUKUOKA



Foxfire ONE FUKUOKA 2025年4月24日(木)オープン

福岡市天神エリアの新たなランドマーク「ONE FUKUOKA BLDG.」の4階にオープンしました。



◆ **ONE FUKUOKA BLDG. 福岡県福岡市天神1-11-1**

西日本鉄道株式会社が運営する地上19階、地下4階の総合施設です。地下2階～地上5階はショップ＆レストラン、6-7階はスカイロビー、8-17階はオフィスフロア、18-19階はホテルで構成されます。

TOPIC⑦ 「熊一目散」 発売



国産初の 熊撃退スプレー 「熊一目散」 発売 2025年5月25日

動物医薬品メーカー・バイオ科学（本社：徳島県）が、熊研究の第一人者・酪農学園大学の佐藤喜和教授と共同で研究開発。国産初の熊撃退スプレー。当社は製造元より釣具店・アウトドア店等における販売権を得ることができました。

スプレーノズルは緊急時でも咄嗟に噴出しやすいユニバーサルデザイン形状。

高品質・高信頼で、操作性にも優れながら、海外ブランド製品の半値以下の価格帯を実現。熊をはじめとする害獣の脅威にさらされる多くの方へ、手軽・身近な熊撃退スプレーとなっています。

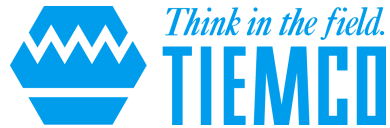
ボトルはアルミ耐圧缶を採用。軽量丈夫で女性も握りやすい太さ。カプサイシン2%以上配合。環境に配慮したLPガスを使用(HFC不使用)。

【噴射距離】 約10m

【噴射時間】 約10秒

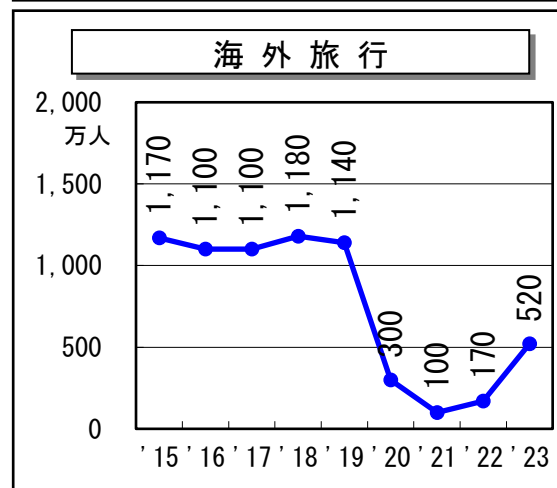
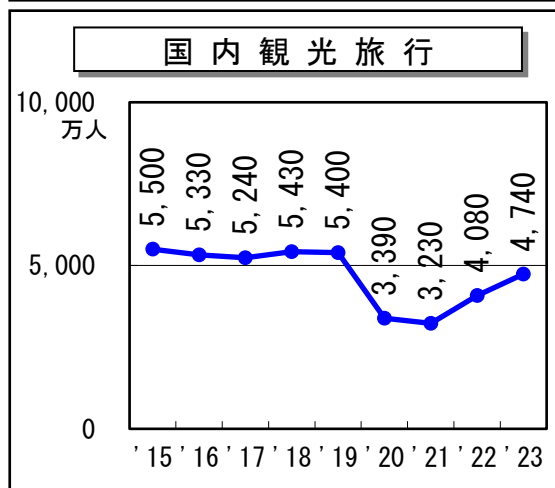
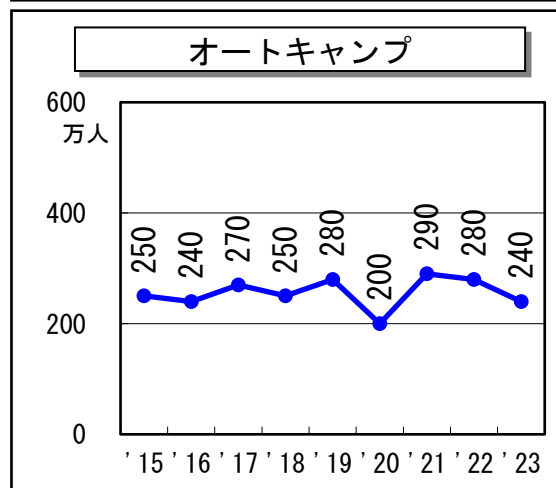
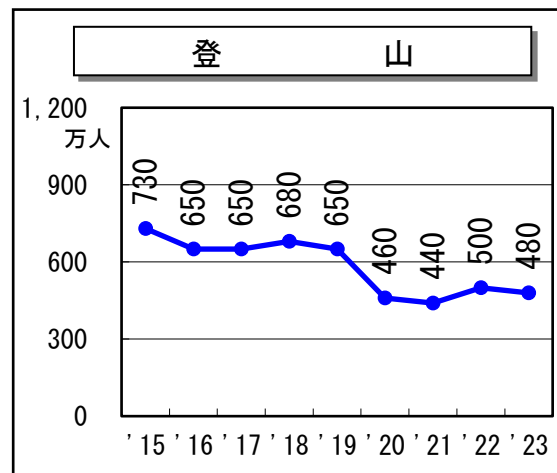
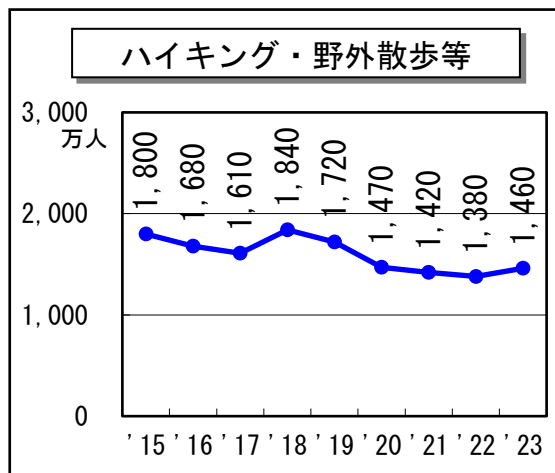
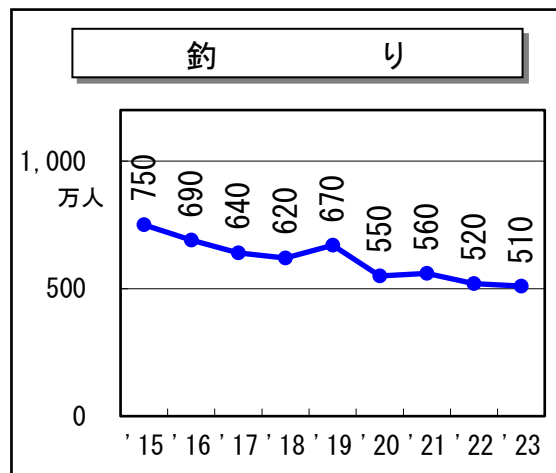
【対象動物】 ヒグマ、ツキノワグマ、イノシシ、サルなどの獣

市場調査データ



参加人口の推移

当社の事業に関連するアクティビティの参加人口をピックアップしています。



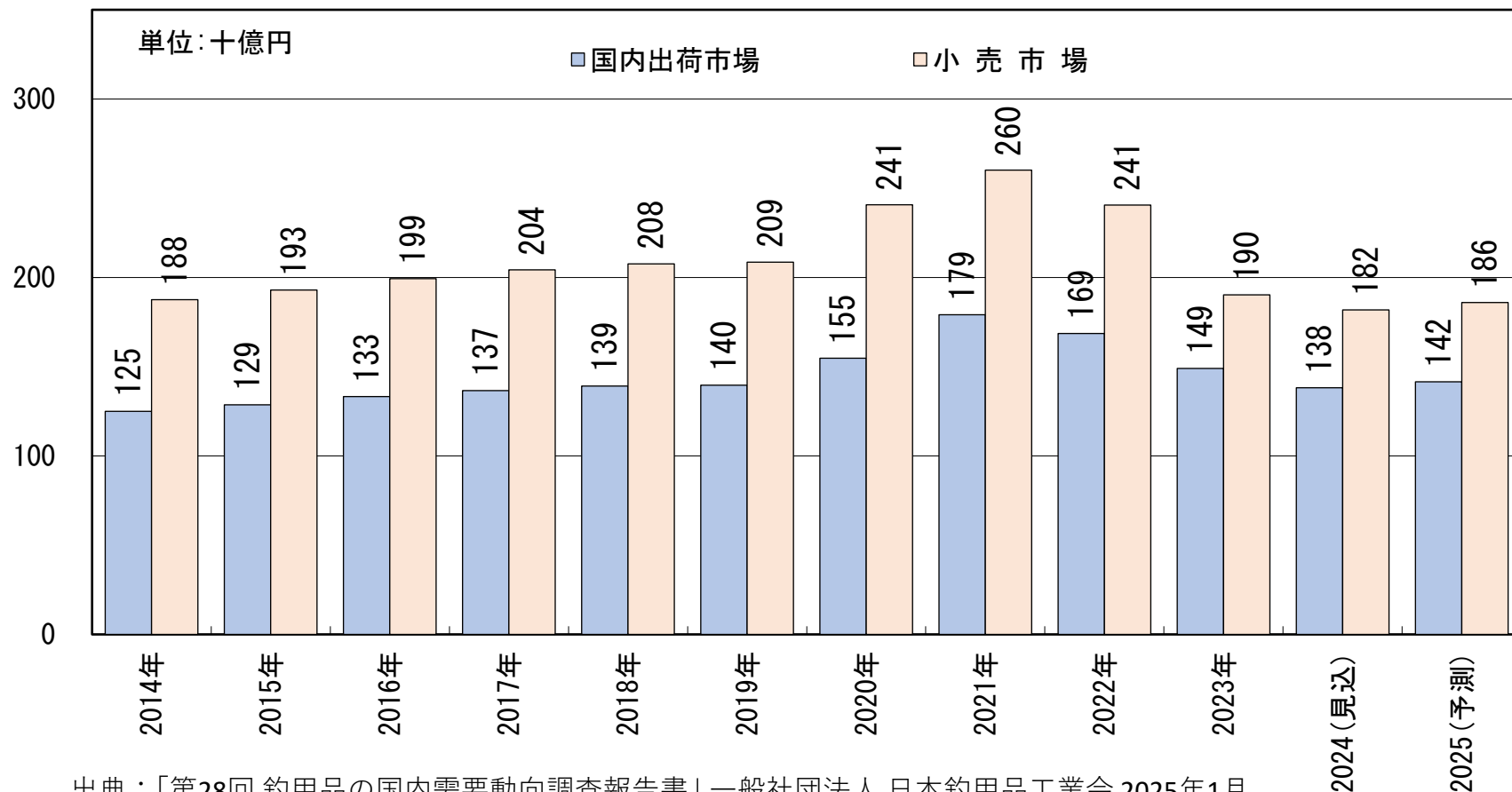
出典「レジャー白書2024」 公益財団法人 日本生産性本部 2024年10月

釣用品市場規模の推移

< 2つのグラフの意味 >

国内出荷市場：メーカーから小売店への出荷額の国内総計

小売市場：小売店より消費者等への販売額の国内総計



出典：「第28回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2025年1月

釣種別の国内出荷規模



国内出荷規模（メーカーから小売店への出荷額）を釣種別に分類した表です。
色のついたセルは当社に関係する釣種になります。

釣 種	2022		2023			2024見込)		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
ルアーフィッシング	109,183	64.8%	90,843	60.9%	83.2%	85,798	62.1%	94.4%
バ ス	29,349	17.4%	27,197	18.2%	92.7%	23,162	16.8%	85.2%
ソ ル ト	70,722	41.9%	58,269	39.1%	82.4%	56,751	41.1%	97.4%
ト ラ ウ ト 他	6,112	5.4%	5,377	3.6%	59.0%	5,885	4.3%	109.4%
フライフィッシング	2,634	1.6%	2,659	1.8%	100.9%	2,064	1.5%	77.6%
ルアー・フライ小計	111,817	66.3%	93,502	62.7%	83.6%	87,862	63.6%	94.0%
投 げ 釣 り	3,941	2.3%	4,008	2.7%	101.7%	3,445	2.5%	86.0%
磯・波 止 め 釣 り	22,361	13.3%	20,013	13.4%	89.5%	18,106	13.1%	90.5%
船 釣 り	20,499	12.2%	17,424	11.7%	85.0%	17,187	12.4%	98.6%
溪 流 釣 り	1,627	1.0%	1,660	1.1%	102.0%	1,701	1.2%	102.5%
ア ユ 釣 り	5,083	3.0%	5,190	3.5%	102.1%	4,688	3.4%	90.3%
ヘ ラ ブ ナ 釣 り	5,022	3.0%	5,423	3.6%	108.0%	4,353	3.2%	80.3%
そ の 他	1,270	-1.0%	1,890	1.3%	-109.2%	788	0.6%	41.7%
合 計	168,620	100.0%	149,110	100.0%	88.4%	138,130	100.0%	92.6%

出典：「第28回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2025年1月

アウトドア用品の国内出荷規模①



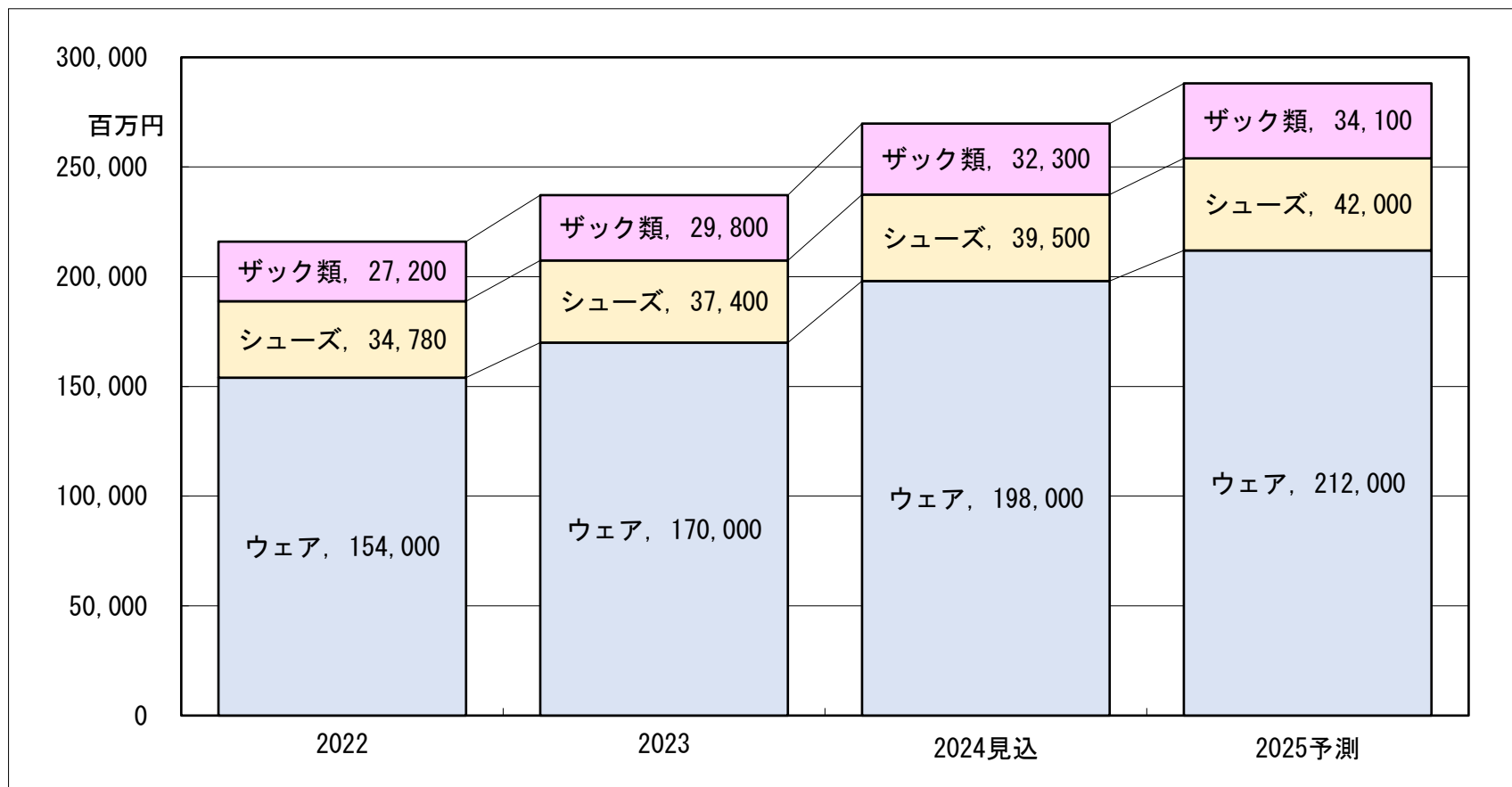
国内出荷規模（メーカーから小売店への出荷額）を商品別に分類した表です。
色のついたセルは当社に関係するジャンルになります。

分 類 (単位:百万円)	2022	2023		2024見込		2025予測	
	出荷額	出荷額	前年比	出荷額	前年比	出荷額	前年比
ア ウ ト ド ア ウ ェ ア	154,000	170,000	110.4%	198,000	116.5%	212,000	107.1%
ア ウ ト ド ア シ ュ ー ズ	34,780	37,400	107.5%	39,500	105.6%	42,000	106.3%
ザ ッ ク 類	27,200	29,800	109.6%	32,300	108.4%	34,100	105.6%
テ ン ト ・ タ ー ブ 類	26,400	19,200	72.7%	15,660	81.6%	15,000	95.8%
シ ュ ラ フ	7,800	6,000	76.9%	6,000	100.0%	6,100	101.7%
照 明 器 具	4,800	3,500	72.9%	2,850	81.4%	2,770	97.2%
調 理 器 具・食 器 類	11,300	9,300	82.3%	6,600	71.0%	6,360	96.4%
テ ー ブ ル ・ チ ェ ア	14,100	11,200	79.4%	11,200	100.0%	11,230	100.3%
ク ー ラ ー ・ ジ ャ グ 類	7,100	5,900	83.1%	7,500	127.1%	8,100	108.0%
そ の 他	23,700	18,800	79.3%	18,700	99.5%	20,300	108.6%
合 計	311,180	311,100	100.0%	338,310	108.7%	357,960	105.8%

アウトドア用品の国内出荷規模②



当社に関連する商品ジャンルのみをピックアップした国内出荷規模（メーカーから小売店への出荷額）のグラフになります。





Think in the field.
TIEMCO

< 当資料に関するお問い合わせ >

株式会社ティムコ 社長室

TEL 03-5600-0122 FAX 03-5600-0302

メールでのお問い合わせは下記のアドレスまたは右のQRコード
より I R お問い合わせ画面にアクセスいただけます。

<https://tiemco.tayori.com/f/inquiry-form-ir/>

IRお問い合わせ専用



注) 本資料は、当社の業績概要の提供を目的とするものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り開示時点の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。
本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。